

## 非漢字圏学習者の漢字習得に関する研究

### ◆キーワード

漢字学習 外国語としての日本語

### ◆産業界の相談に対応できる分野 教材開発

留学生センター 教授  
池田 庸子

TEL 029-228-8436  
FAX 029-228-8436  
e-mail yikeda@mx.ibaraki.ac.jp



### 一言 アピール

非漢字圏学習者の漢字習得に関する研究を行い、より楽しく効果的に漢字を学習するための教材研究・開発を行っています。

### 研究概要

非漢字圏学習者にとって、日本語を習得する上で最も難しいことのひとつが漢字学習です。どうすれば、より楽しく効果的に漢字を学ぶことができるのか、漢字習得と教材に関する研究と開発を行っています。

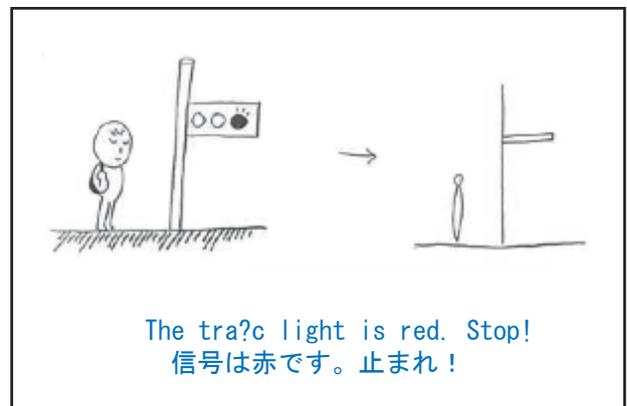
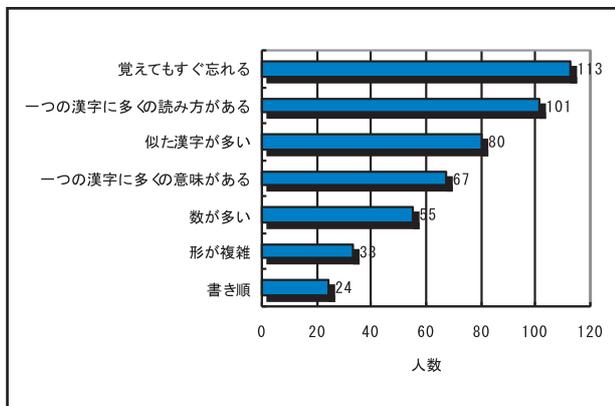
まず、非漢字圏学習者は漢字のどのようなことが難しいと感じているか、日本とアメリカで学ぶ非漢字圏の学習者を対象に調査した結果が下のグラフです。最も多く指摘された困難点は「覚えてもすぐ忘れる」であり、回答者の75%が難しい点と挙げています。「一つの漢字に多くの読み方がある」「似た漢字が多い」なども難しいと感じる点だということがわかります。

また、どのようなストラテジーを用いて漢字を学習しているか調査したところ、「何度も書く」、「新しい漢字を既習の漢字やカナに関連付けて覚え

る」、「漢字を視覚イメージと関連付ける」など様々なストラテジーを用いており、学習者の漢字学習歴によっても用いるストラテジーに違いがあることがわかりました。

こうした調査結果をもとに、初級の学生がさまざまなストラテジーを用いながら、楽しく、無理なく学べる漢字教材を共同研究者とともに作成しています。象形文字など語源を示したうえで、漢字を学ぶ方法、また下のイラストのように、語源とは関係ないが、視覚的なイメージで漢字と関連づけて覚える方法、その他ストーリー仕立てで既習漢字と関連付けて覚える方法などを取り入れています。

参考文献：坂野永理他(2008)「非漢字圏学習者の既習漢字数から見た漢字学習意識とストラテジー」『日本語教育学世界大会2008予稿集』



### 何に 使える?

外国人のための漢字教材作成